



平成27年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月9日

上場取引所 東

上場会社名 アウンコンサルティング株式会社

コード番号 2459 URL <http://www.auncon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 信太 明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 専務執行役員

(氏名) 坂田 崇典

TEL 03-5803-2727

四半期報告書提出予定日 平成27年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第2四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第2四半期	784	△2.9	△22	—	△12	—	△13	—
26年5月期第2四半期	808	28.2	△13	—	△6	—	△1	—

(注) 包括利益 27年5月期第2四半期 7百万円 (—%) 26年5月期第2四半期 △8百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第2四半期	△1.77	—
26年5月期第2四半期	△0.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年5月期第2四半期	910	705	77.5
26年5月期	917	698	76.2

(参考) 自己資本 27年5月期第2四半期 705百万円 26年5月期 698百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
27年5月期	—	0.00	—	—	—	—
27年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,037	21.3	20	—	20	185.7	20	81.8	2.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期2Q	7,502,800 株	26年5月期	7,502,800 株
② 期末自己株式数	27年5月期2Q	— 株	26年5月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期2Q	7,502,800 株	26年5月期2Q	7,459,467 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年6月1日～平成26年11月30日）におけるわが国経済は、アベノミクスによる各種経済政策や日銀の追加金融緩和に対する期待感から円安・株高が進行し、一部に企業収益の改善がみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、4月からの消費税引き上げ後、個人消費の落ち込みや、中国の金融不安・新興国の経済成長の鈍化など、世界経済は潜在的な下押しリスクを抱えており、今後の動向が注目されております。

このような状況の中、当社グループは収益力の回復と拡大を最優先課題とし、当第2四半期連結会計期間においては、特に、国内既存事業における販売体制の強化、海外・多言語領域における高付加価値サービスの提供、新規事業におけるサービスの拡充を実施して参りました。

まず、国内の既存事業においては、特にSEOサービスにおける販売体制・営業体制の見直しに着手いたしました。アルゴリズムが複雑化する中、多様化する顧客ニーズに対応したサービスの提供を実現するために、新商品の開発、及び、営業組織の体制変更を実施いたしました。結果として、主に成果報酬型SEOサービスにおける契約件数は増加基調に入りつつあります。一方で、成果報酬型SEOサービスの特性上、短期間での収益化が困難であり、当第2四半期連結累計期間においては、売上・利益を大幅に押し上げるまでには至りませんでした。短期間での収益化および継続的な上位表示を実現できるよう、R&D部門にて施策の精度向上と開発を進めております。

次に、海外・多言語領域においては、日本国内で蓄積したインターネットマーケティングのノウハウと海外現地法人からのスピーディーな情報収集を融合させ、グローバルマーケティング領域において、付加価値の高いサービスの提供が可能となりました。その結果、日本企業のインバウンド・アウトバウンド需要をいち早く取り込むことができました。また、海外法人においては、当第1四半期に引き続き、成果報酬型SEOの販売をより一層強化した結果、引き続き海外法人全体では高い収益性を確保できております。今後、日本以外の現地マーケットへのプロモーション支援の需要はますます高まることが予想されるため、グローバルマーケティング領域における既存施策の収益性向上に取り組んでおります。

最後に、新規事業においては、第1四半期に公開した海外進出支援ソーシャルサイト「The Oceanz（ジ オーシャンズ）」のユーザービリティ向上を目指し、サービス提供国の増加、機能の追加、コンテンツ記事の定期的な配信等を実施いたしました。積極的なPR活動による認知向上の施策にも取り組み、今後、SEO・PPCと共に収益を支える事業として育てるべく、更なる経営資源の投下を予定しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は784百万円（前年同期比2.9%減）、営業損失は22百万円（前年同期は営業損失13百万円）、経常損失は12百万円（前年同期は経常損失6百万円）、四半期純損失は13百万円（前年同期は四半期純損失1百万円）となりました。

なお、セグメント別の状況については、当社グループはSEMを主としたマーケティング事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.6%減少し、833百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.7%減少し、76百万円となりました。これは、主に減価償却費の増加によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて6.6%減少し、201百万円となりました。これは、主に買掛金の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて20.3%増加し、2百万円となりました。これは、主に繰延税金負債の増加によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.0%増加し、705百万円となりました。これは、主に為替換算調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間に関しましては、概ね計画通りに推移しているため、平成26年7月11日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	590,966	602,621
受取手形及び売掛金	243,134	219,606
仕掛品	1,156	738
その他	16,773	24,551
貸倒引当金	△12,791	△13,656
流動資産合計	839,238	833,861
固定資産		
有形固定資産		
建物	20,092	22,695
減価償却累計額	△11,988	△13,117
建物(純額)	8,103	9,578
工具、器具及び備品	36,041	36,189
減価償却累計額	△25,492	△27,786
工具、器具及び備品(純額)	10,549	8,403
有形固定資産合計	18,653	17,981
無形固定資産		
のれん	105	30
ソフトウェア	7,513	5,433
無形固定資産合計	7,618	5,464
投資その他の資産		
投資有価証券	16,194	16,922
敷金及び保証金	35,362	36,134
投資その他の資産合計	51,557	53,057
固定資産合計	77,828	76,502
資産合計	917,067	910,364
負債の部		
流動負債		
買掛金	139,365	128,941
未払費用	27,671	23,116
未払法人税等	1,942	1,526
前受金	10,512	14,498
その他	36,816	33,878
流動負債合計	216,309	201,961
固定負債		
リース債務	432	-
繰延税金負債	1,843	2,738
固定負債合計	2,276	2,738
負債合計	218,585	204,699

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	341,136	341,136
資本剰余金	471,876	471,876
利益剰余金	△127,993	△141,243
株主資本合計	685,018	671,768
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,329	4,944
為替換算調整勘定	10,031	28,850
その他の包括利益累計額合計	13,360	33,794
新株予約権	102	102
純資産合計	698,481	705,665
負債純資産合計	917,067	910,364

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
売上高	808,086	784,996
売上原価	607,347	604,171
売上総利益	200,739	180,825
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	213,779	203,008
営業損失(△)	△13,040	△22,183
営業外収益		
受取利息	119	71
解約手数料等	866	367
未払配当金除斥益	315	168
投資事業組合運用益	3,137	7,122
為替差益	2,040	-
その他	448	1,670
営業外収益合計	6,928	9,400
営業外費用		
支払利息	55	25
為替差損	-	135
その他	94	16
営業外費用合計	149	176
経常損失(△)	△6,261	△12,959
特別利益		
関係会社株式売却益	5,088	-
新株予約権戻入益	5	-
特別利益合計	5,093	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,167	△12,959
法人税、住民税及び事業税	290	290
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,457	△13,249
四半期純損失(△)	△1,457	△13,249

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,457	△13,249
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,159	1,614
為替換算調整勘定	△5,563	18,818
その他の包括利益合計	△6,723	20,433
四半期包括利益	△8,181	7,183
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,181	7,183

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)	当連結会計年度 (自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失(△)	△1,167	△12,959
減価償却費	7,117	6,103
のれん償却額	230	91
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,708	864
投資事業組合運用損益(△は益)	△3,137	△7,122
関係会社株式売却損益(△は益)	△5,088	-
新株予約権戻入益	△5	-
受取利息及び受取配当金	△119	△71
支払利息	55	25
売上債権の増減額(△は増加)	△72,076	30,734
たな卸資産の増減額(△は増加)	△560	566
仕入債務の増減額(△は減少)	33,725	△11,714
その他	4,785	△13,417
小計	△34,530	△6,899
利息及び配当金の受取額	119	71
利息の支払額	△55	△25
法人税等の支払額	△582	△577
営業活動によるキャッシュ・フロー	△35,049	△7,430
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,432	△2,129
無形固定資産の取得による支出	△2,693	-
敷金及び保証金の差入による支出	-	△1,496
敷金及び保証金の回収による収入	128	1,534
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△809	-
長期貸付金の回収による収入	3,000	-
投資事業組合からの分配による収入	5,000	8,700
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,808	6,607
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△808	△723
配当金の支払額	△16	△13
新株予約権の発行による収入	137	-
新株予約権の行使による株式の発行による収入	2,860	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,172	△736
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,623	13,215
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△34,061	11,655
現金及び現金同等物の期首残高	559,535	590,966
現金及び現金同等物の四半期末残高	525,473	602,621

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、SEMを主としたマーケティング事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。